

- ▶第66回学校代表者協議会より(1~3面)
- ▶公募 (3面)
- ▶キリスト教看護教育推進会議 (〃)
- ▶関西地区新任教師研修会 (〃)
- ▶関東地区教師研修会 (〃)
- ▶キリスト教学校教育懇談会
- ▶第22回講演会 (4面)
- ▶青山学院創立150周年記念行事 (〃)
- ▶キリスト教Q&A、行事予定 (〃)

# キリスト教学校教育

1

(一社)キリスト教学校教育同盟  
〒169-0051  
東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館72号室  
電話 03(6233)8225  
FAX 03(6233)8226  
理事長 西原 廉太  
編集人 田村 浩一  
頒価200円(加盟法人の購読料は会費に含まれています)  
(毎月1回15日発行)

2024・2025年度教研テーマ  
新たな時代におけるキリスト教学校の使命と連帯—いのちの輝きと平和を求めて—

2025年を迎えました。新しい年もキリスト教学校教育同盟につらなるすべての学校法人、児童、生徒、学生、教職員、役員の上に、主の限りない励ましと支えが与えられることを願います。

昨年1月1日には能登半島地震が発生し、9月には追い打ちをかけるように能登半島豪雨が襲いました。犠牲、被害に遭われた方々を覚え、1年を経ても未だ避難し、不自由な生活を強いられている方々の日常が、一日も早く回復されるように、主に祈り求めます。今年17日には阪神・淡路大震災からちょうど30年を迎えます。11月の第66回学校代表者協議会は神戸市の学校法人啓明学院に会場校をお引き受けいただきましたが、啓明学院でも命を落とされた生徒がおられたと伺いました。

代表者協議会の理事長挨拶で、私は2011年に東日本大震災が発生した直後のある祈りの集いで、被災地でボランティア活動に従事していた聖公会の女性の方のメッセージを紹介しました。当時、宮城県七ヶ浜町でお風呂に入れない方々に足浴させ、話を聴くというストレスケアの働きを通しての証しでした。私は、その証言の中に、私たちキリスト教学校の果たすべき役割、働きが示されているように確信したからです。

当時、テレビなどでも「日本は強い」など、「強くあ

## 新しい年を迎えて



西原 廉太

ること」が繰り返し声高に叫ばれました。そんな風潮に対して、私たちは、むしろ「弱さ」や「小ささ」に徹底して寄り添い続けることの意味を、身をもって証しし続け、私たちの大切な子どもたちに伝えて行く責任があることを確かめたのでした。

私たち自身が、主から足を洗ってもらった弱い存在であることを胸に刻みながら、今、困難の中にある人々の足を洗い、手を温め、ゆっくりとその物語に耳を傾けながら、共にあり続けたい。私たちの学校が、私たち一人ひとりを、「愛して、愛し抜かれた」主に従って、そんな「足湯の学び舎」となることができた時に、そこに確かに主はたくさんの小さな奇跡を起こし続けてくれるに違いないのです。

キリスト教学校の内外をとりまく状況は、ますます厳しさを増している中で、いかに私たちがそれぞれのミッションを豊かに果たすことができるのかを、本年も一緒に考えたいと思います。今、私たちはさまざまな試練の中にありますが、長い夜にも必ず、朝は訪れます。希望と共に、必ず朝は訪れます。恐れることなく、私たちが「愛して、愛し抜かれる」主に信頼しながら、さらなる旅に踏み出してまいりましょう。

〈立教学院院長、立教大学総長、教育同盟理事長〉

## 第66回学校代表者協議会より

(2024年11月1日(金)2日(土)開催)

周年誌編纂の意義とは？  
『学校の歴史物語』を描く  
『啓明学院百年史』を編纂して  
啓明学院院長 辻学



女子英学院時代の生徒たち



タイプライター科の授業

旧約聖書ではここ20年ほど、聖書が描く古代イスラエル史の歴史性をめぐって激しい議論が交わされてきましたが、そこからわかるのは、歴史とは物語であり、その歴史物語にはメッセーが込められているというこです。旧約聖書の物語には、自分たちはどういう民族であるかを歴史として語ることで、民族としての一体性を強化する意図が見取れます。

「学校史」にも同じことが言えるでしょう。学校の歴史物語を描くという作業は、自分たちの学校が何を大事にし、何を目標としてきたかという学校のアイデンティティを浮き彫りにして、そのアイデンティティを構成する要素を明らかにし、その要素が共有するよう呼びかけるメッセージを発する作業なのです。そのこと

を、昨年発行した『啓明学院百年史』を編纂する過程で強く感じました。啓明学院の歴史物語が描き出す「アイデンティティとしての伝統」としての伝統を高度な学識や技術を実践に活かしていくためには、優れた人格の育成が必要で、啓明学院はキリスト教主義教育によって

その課題を果たしてきました。戦前から、朝の祈禱会、礼拝、聖書研究、YMCAへの参加、キャンプなどが実施され、キリスト教への偏見がまだ強い時代の中でも、その働きが止まることはありませんでした。

(3) 女子英語教育II国際的視野での教育 軍部や警察当局からの圧力を受け、パルモア女子英学院という当時の校名は「啓明女学院」に変更されましたが(1940年)、同年に制定された院章はPalmore Women's English Instituteの頭文字PWEIを組み合わせたもので、やはり同じ年に作詞されたスクールソングは英語でした。ここには、困難の中でこそ「パルモア」の伝統にこだわった姿勢が表れています。当時の学校には、神戸在住の外国人生徒が多数籍しており、学校は自ずと国際交流の場にな

つなっており、インドや韓国の学校と現在結ばれている協定は、その顕著な例と言えます。啓明学院史という「物語」は、これら三つの点を核として描かれていますが、『啓明学院百年史』には、創立以来の四つの校名が副題として付けられています。これは、すべての時代を通して啓明学院がその三つの核を大事にしてきたことを示すものです。

## 学校法人 啓明学院 100周年記念館



時代毎のタイプライター



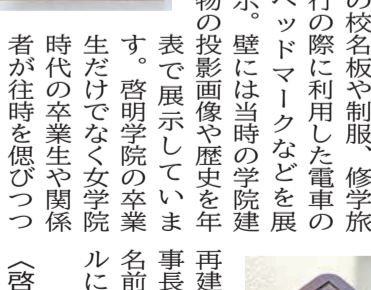
制服の変遷や昔の修学旅行車両のヘッドマーク

2024年4月19日発行  
啓明学院 百年史  
2024年4月19日発行

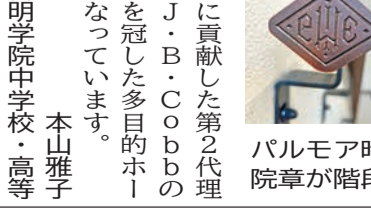
玄関前の100周年記念レリーフ「おかえり」



ランバス師の遺髪



再建に貢献した第2代理事長J・B・Cobbの名前を冠した多目的ホールになっていきます。



代表者協議会2日目に啓明学院100周年記念館の見学がありました。2023年9月に竣工した記念館は、1階はパルモア学院、2階はパルモア女子英学院、3階は啓明学院と続く学院資料を整

理・保管するアーカイブ室で、ここには学院の源流である「読書館」を創設したW・R・ランバスの遺髪(写真展示あり)も保管しています。『W・R・Lambuth's hair』のタイプライター、聖書と書かれた封筒に入った状態で見つけたこの遺物の投影画像や歴史を年表で展示していま

迎へ、記念祈祷会が新島 襄旧宅(群馬県安中市)で行われた。※新島襄から直接洗礼を受けた人々を中心に、安中教会と新島学園が設立された。

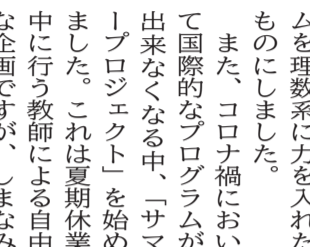


### 講演II 啓明学院の教育が 目指すもの 指宿 力



啓明学院中学校・高等学校 校長 指宿 力

本校は関西学院大学との教育協定のもと、2002年に大学継続校となる際に女子校から男女共学校となり、校長に就任した尾崎八郎先生はこれまでの女子教育の取組みを尊重すると共に、前任校の関西学院中部部で行われていたプログラムを共有することで教育の継続性も強められました。



無人島でのキャンプ

現在でも行っているキャンプ教育、読書教育、駆け足、土曜講座などが、2020年に校長となつてからも教職員と共に新しい取組みを進めていますが、例えばお正月の時期を迎えていた新学習指導要領に即した改訂において、高校数学では数Ⅲまでを必修科目にするなど、学校のカリキュラムを理数系に力を入れたものにしました。



「サマープロジェクト」より

戦する意欲を後押しするため予算を用意し、個々のチャレンジを応援しています。このような多様なプログラムを行うことにより生徒のチャレンジの機会を豊富にすることは、本校のリベラルアーツ型教育を形作る大事なポイントです。幅広い学びや経験はリベラルアーツが本来持つ「人間をより人間らしく育てる」という目的に重なるものと考え、何よりそれによって得られる「人間の芯をかたちづくる学び」を行うことはキリスト教主義学校の目指す姿勢であると考えているから、そしてそれは次に備えられた大学などの高等教育において必要となる資質、やり抜く力、自制心、意欲、社会的知性、楽観的精神、好奇心を豊かに宿し、自らの人生を前向きに歩もうとする人格を育てる、大切なエッセンスになるのではないかと考えています。

#### 開会礼拝奨励 原点

マタイによる福音書19章13～15節

ゆき とも 智通 小 啓明学院中学校・高等学校 聖書科教師

皆さんのキリスト教、聖書、教会との出会いはどうだったでしょうか。私は神棚と仏壇のある家に生まれ、幼稚園はキリスト教でしたが、聖書の言葉やキリスト教の教えは記憶にありません。小学1年の時に従弟が教会学校に誘ってくれました

「日曜日に学校なんか行かへん」と言っていたのを覚えてます。小学4年の秋、友達に誘われて教会に行きました。この時の教会との出会いで「こゝに私の居場所がある」と感じました。私は「くる病」という病気で生まれてきました。体が弱く友達と同じように走り回るようなことは出来ませんでした。劣等感の塊を抱えて毎日を過ごしていたかもしれせん。そんな中、教会と出会ったのです。あるがままの私を受け入れてくれる居場所がそこにある。使徒言行録20章にエウパロコという青年の話があります。パウロの話が長いので、窓に腰かけて話を聞いているうちに眠りこけて三階から落ちてしまい死んでしまった。一人ひとりを愛し、一人ひとりに居場所がある、キリスト教主義学校がそのような器でありつづけることができ、パウロが生き返らせよう、この原点を忘れない、その心に刻んで歩もうと自分に言い聞かせています。

た。体が弱く友達と同じように走り回るようなことは出来ませんでした。劣等感の塊を抱えて毎日を過ごしていたかもしれせん。そんな中、教会と出会ったのです。あるがままの私を受け入れてくれる居場所がそこにある。使徒言行録20章にエウパロコという青年の話があります。パウロの話が長いので、窓に腰かけて話を聞いているうちに眠りこけて三階から落ちてしまい死んでしまった。一人ひとりを愛し、一人ひとりに居場所がある、キリスト教主義学校がそのような器でありつづけることができ、パウロが生き返らせよう、この原点を忘れない、その心に刻んで歩もうと自分に言い聞かせています。

#### 九州ルーテル学院 インターナショナルスクール 開校の経緯と現状

松本 充右 九州ルーテル学院 大学長

「平和を実現する人々...」と訳されている言葉は、新約聖書ではこの箇所だけに使われる珍しい言葉です。福音書記者は

#### 2日目朝礼拝奨励 永遠平和のために

マタイによる福音書5章9節

芳我 顕司 啓明学院中学校・高等学校 聖書科教師

和を語っています。ドイツの哲学者カントによる平和論の古典『永遠平和のために』。世界市民法の概念や、国家間の平和を実現するための具体的な提案を通じて、理想的な国際社会の姿が描かれており、カントは永遠の平和を単なる理想ではなく、人類が達成すべき道徳的な義務だと語ります。そのため、平和の実現には政治的な側面だけでなく、個人の道徳的・倫理的な成長が不可欠だと主張します。そして、カントは理性となるでしょう。なぜなら、この人間社会において、国家間の対立を平和的に解決できると考え、教育の重要性も説くので、私たちが奉職する教育職だからです。今、この時代を私たちが断ることができるように、平和な社会の基盤となる。平和への道のりは決して平坦ではありません。しかし、理想に向かって努力し続けることが、私たちに課された平和に対する使命であることは確かです。もし学校教育が明日の平和を創り出す初穂となるよう主の導きを祈りつつ、共に歩みたいと願います。

「平和を実現する人々...」と訳されている言葉は、新約聖書ではこの箇所だけに使われる珍しい言葉です。福音書記者は中々与えられる身近な平

の重要性、「特別な支援を要する児童への個別サポートの必要性」、「ルーテルインター小卒業後の進路確保」、「熊本大学附属小の国際科設置の動き」、「今後の収支見込み」など、今ルーテルインター小が直面している様々な課題について情報の共有も行いました。発題後の質疑応答では児童確保の見込み、ルーテルインター小だけではなく学院全体での全学的なキリスト教教育の方針、母語以外の言語で学ぶ児童の知性の発達課題について質問が出しました。

#### 第66回学校代表者協議会での発題として、(1)

「日本の小中高における英語教育の現状」、(2)「九州ルーテル学院インターナショナルスクール

「日本の小中高における英語教育の現状」、(2)「九州ルーテル学院インターナショナルスクール」のルーテルイン



2024年4月の開校から半年が経過した今、見えてきた多くの課題があり、母語教育の課題や大切さ、学院を貫くキリスト教教育の必要性などを私自身も改めて考える有益な機会となりました。

小の設置を決めたことを説明しました。また、設置決定から1年という短期間でインター小という短期間でインター小の設置を決めたことを説明しました。また、設置決定から1年という短期間でインター小の設置を決めたことを説明しました。



授業の様子(3年生)



**公募**

※採用予定日は全て4月1日です。

▽立教女学院中学校・高等学校  
職種Ⅱ英語科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
応募締切 11月15日  
問合せ 03-3247-0905  
▽関東学院六浦中学校・高等学校  
職種Ⅱ理科(生物) 契約教諭 1名  
職種Ⅱ理科、情報科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
任教諭又は期間採用教諭 各1名  
応募締切 11月24日

▽立教女学院中学校・高等学校  
職種Ⅱ英語科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
応募締切 11月15日  
問合せ 03-3247-0905  
▽関東学院六浦中学校・高等学校  
職種Ⅱ理科(生物) 契約教諭 1名  
職種Ⅱ理科、情報科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
任教諭又は期間採用教諭 各1名  
応募締切 11月24日

▽立教女学院中学校・高等学校  
職種Ⅱ英語科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
応募締切 11月15日  
問合せ 03-3247-0905  
▽関東学院六浦中学校・高等学校  
職種Ⅱ理科(生物) 契約教諭 1名  
職種Ⅱ理科、情報科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
任教諭又は期間採用教諭 各1名  
応募締切 11月24日

▽立教女学院中学校・高等学校  
職種Ⅱ英語科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
応募締切 11月15日  
問合せ 03-3247-0905  
▽関東学院六浦中学校・高等学校  
職種Ⅱ理科(生物) 契約教諭 1名  
職種Ⅱ理科、情報科 専任教員 1名  
又、常勤講師 1名  
任教諭又は期間採用教諭 各1名  
応募締切 11月24日

山梨英和高等学校は、一人ひとりに与えられた恵みを生かして心豊かに学んでほしいという祈りを込めて2023年4月に山梨県下で唯一のキリスト教主義女子通信制課程「グレイスコース」を開設しました。

全日制では、一定の欠席日数を超えた生徒は進級できず、その多くは残念な思いで学校を去っていきます。そして、本校でも他の通信制高校へ転学する道を選択せざるを得ない状況でした。キリスト教学校として、神様が一人ひとりを愛してくださっていることを日々



No one will be left behind.  
～神様から愛される存在として  
グレイスコースで学ぶ～  
山梨英和高等学校 中学校 三井貴子 前校長

の礼拝で伝えながらも、どうすることもできない虚しさを痛感してききました。そこで、自分のペースで学ぶことが可能な通信制課程「グレイスコース」の開設を決断するに至りました。

基本理念は全日制と同じとしました。校訓「敬神・愛人・自修」です。神様に感謝して与えられたタラントを見出し、一人ひとりを重んじ誰一人取り残さない、そして自分らしく安心して学べる環境作りを大切にしています。通信制ではありますが、週3日の自由登校日を設け、登校日には全日制とは別の時間帯に学校で礼拝の時間を持っています。自宅からもオンライン(ライブ)で共に礼拝を守ることができ、また、年に2単位、3年間で6単位の聖書の授業が必須となっています。創立記念礼拝、全校修養会、クリスマス礼拝



山梨英和学院



グレイスコース教室

本校の全日制に転籍が可能なことも大きな特徴です。

2023年4月の開設時には6名の生徒でスタートしました。山梨英和女子学校は1889年にやりましたので、同じ数の生徒を与えられたことに神様の大きな恵みとご計画を感じます。一年後の2024年3月には、最初の卒業生3名を送り出しました。3人ともそれぞれの進路を切り開き、卒業式は全日制で関わった教師も喜びを分かち合いました。また、3名の生徒が本学の全日制に転籍しました。2024年11月現在、53名の生徒が学んでいます。

2023年度は1都3県のみでしたが、今年度は1都9県、さらに海外(17カ国)にも門戸を広げました。また、姉妹校である東洋英和女学院(東京・六本木)でのスクーリングも可能になりました。教育の個別最適化が求められる今日、キリスト教主義学校が通信制課程を持つことの大きな意義を感じます。No one will be left behind.

などの学校行事には全日制の生徒と一緒に参加することがあります。

多様化する生徒のニーズに対応するために、中学での基礎から学ぶ「ベシック国語・数学・英語」、第二外国語として「ドイツ語・ハンガール」、外国人講師や時間設定を自由に選べるマンツーマン指導の「オンライン英会話」、茶道・華道・着付けを学ぶ「日本文化探究」、心と体のバランスを考える「ココカラプロプログラム」、ボランティア演習、ニュージランドへのタム留学、情報演習、課題研究、進路探究など、特色ある学校設定科目を開講しています。

また、大学入試に備え予備校とも提携しています。生徒たちは、自分の興味関心に沿ってオリジナルカリキュラムを作成し、個々のペースで学んでいます。条件はありますが、高校2年の4月に

「管理職のリーダーシップとは」  
2024年度関東地区教員研修会 中高研修

2024年11月14日(木)～15日(金)、箱根湯本駅前湯本富士屋ホテルを会場に、各学校リーダーや管理職を対象にした宿泊研修を開催しました。参加者17名(内日帰り2名)。

当日は伊藤多香子委員(関東学院六浦中高)により開会礼拝を守り、その後、主講演「学校運営について」を鈴木弘先生(香蘭女学校中等科校長)にお願いしました。鈴木先生は立教池袋中高と香蘭女学校で合計16年間の校長経験をお持ちの経験豊富な先生です。

講演の中で鈴木先生は各校のカラーをしっかりと示していくことの大切さや、学内の報告・連絡・相談の大切さ等の具体的事例を紹介しながら、情熱的且つ力強く、時にユーモアも交えながら本音で語られました。中でもキリスト教教育の軸がブレないことの重要性、教育のあるべき姿を追求していくことや、現場の先生方の良いところや個性を活かせる職場づくりの大切さ等々、本当に豊かな実践事例を紹介し力説されました。また、学校運営をしていく時には迷いがある、その時は立ち止まることも必要だとの言葉には一同深く共感しました。参加者は自校事情と重ね合わせながら聞くことが出来ました。

講演会後には懇親会を開催し豊かな情報交換の時となりました。

翌朝には分科会及び全体会でまとめを行い、閉会祈禱後の午前10時30分に解散しました。



2024年度関東地区教員研修会 中高研修

参加者アンケートからは、鈴木先生のリーダーシップに感激した。各校のカラーを大切にすること、キャビネットを持つことの重要性に気付いた。educate(引き出す)力や絶対的自己肯定感が大切である。どの学校も同じような課題を抱えていることを再確認できた。その人その人を大切にすること、教育が今求められていることを改めて感じた。教育の成立条件は「信頼関係」であることを認識した。4月からの校務で少し疲れていたのご講演から元気をいただいた。現場の先生方の良いところ、個性をいかせる職場づくりを工夫してみよう!と思えるパワーをいただいた気がする。等の沢山の回答が寄せられました。

今回の研修会も良い講師に恵まれたこと、参加しやすいよう交通至便な宿舎にしたこと、宿泊することで情報交換を活発に出来たことなど、意義深い研修となりました。

清水広幸(聖学院中学校・高等学校副校長)

第10回キリスト教看護教育推進会議が2024年11月9日(土)13時より、活水女子大学大村キャンパスにて開催されました。『キリスト教における看護』の主題のもと、33名の出席者が対面にて集いました。開会礼拝では崔炳一活水学院宗教学主任から「イエスのいやし」の説教がありました。障がいのある青年が社会から断絶され、深い心の傷を負いましたが、イエスとの出会いにより社会の一員として生きる希望や力を得て、無力感から解放されました。許しは人間に自由を与え、本当のいやしは神の平安の中で常に喜びが与えられることであり、イエスが本当の意味でのいやしは何かを問いかけているというメッセージでした。

発題は、長崎県対馬病院院長八坂真宏先生による「これからの日本医療と看護～離島医療での取り組みと課題～」についてでした。八坂先生の豊富なご経験や広範な知見に基づく「日本の社会現象、将来と医療・介護の問題点」「長崎県の医療政策の歴史と現状」「対馬の地域医療の現状と課題」「医療・看護における将来展望」について、在校生と共に拝聴しました。最後には、医療職としての基本的能力に加え、卓越性、人間性、説明責任、利他主義のプロフェッショナルリズムを目指して成長し、社会や住民の要請に応じ、医療の需要に対応していく責任が強調されました。また、在校生には「根底にある大事なものや初心を忘れないこと、コミュニケーション力向上のために多くの経験や出会いが重要であること」、教員に対しては「多様性を尊重して学生を育てることを期待している」とのメッセージがありました。

ディスカッションでは、「キリスト教看護教育の特徴を生かした学生募集の戦略や取組み」をテーマとし、グループにて討議しました。大学の魅力は高い水準の教育機関であり、キリスト教が学生の心の拠り所となるような教員の意図的な関りが重要であること、ヒューマンケアリングやスピリチュアルの考えを看護教育に反映し、大学の強みを明確にすること、小中高生や保護者の印象に残るようなSNSを発信すること、地域の特徴を生かして募集活動を拡大すること等が共有されました。さらに、歴史の重みや新たな改革が融合した大学運営や、キリスト教を基盤とした建学の精神が看護師を目指す人々の心の育成に繋がること等、看護教育の質向上や効果的な募集活動の実現に向けて考える、豊かな時間を過ごすことができました。

間宮みどり(活水女子大学看護学部)

新たな時代における  
キリスト教学校の使命と連帯  
2024年度関西地区新任教師研修会 中高研修

関西地区の新任教師研修会が2024年11月16日(土)～17日(日)に日本クリスチャンアカデミー関西セミナーハウス(京都市左京区)にて開催され、加盟校13校より53名(過去最多)の教職員が参加しました。

初日は同志社国際中・高等学校宗教センター主任の朴元姮怜委員による開会礼拝に始まり、自己紹介セッションの後、大阪女学院中学校・高等学校の村恵正博先生より生徒指導および学校広報についての発題がありました。夕食後はキリスト教教育の課題と可能性を考えるグループセッションを行って問題意識を共有した上、啓明学院中学校・高等学校校長の指宿力委員によるメディテーションのひと時をもってプログラムを終えました。夜には自由参加の情報交換会もあり、活発な交流が見られました。

2日目のプログラムは大阪女学院中学校・高等学校宗教主任の宮岡信行委員による主日礼拝に始まり、午前中は前日の内容および礼拝のメッセージをふまえたグループ討議の時間を持ちました。プログラム全体を通じた気づきや疑問を共有する中、共通の問いを巡って創造的な対話が展開され、新たな洞察が得られました。昼食後の最終セッションでは参加者一人ひとりが全体でひとこと感話を述べる時を持ち、北陸学院中・高等学校の阿部俊副校長の助言および関西学院中学部宗教学主任の福島旭委員による派遣の祈りをもって全日程を終えました。研修会の運営は清教学園中・高等学校の芝野貴臣委員が総括してくださり、加盟校からの多くのスタッフの協力により円滑に進みました。

「新たな時代におけるキリスト教学校の使命と連帯」というテーマのもとで行われた今回の研修会を通して感じたのは、キリスト教学校は公立校や他の私学にはできない教育をしないと未来がないということです。キリスト教教育の理念と現代日本社会の平均的な価値観との間には大きな隔りがあるため、理念と利益の二項対立で現状を捉えているのは、キリスト教学校に未来はありません。むしろ、理想と現実のギャップ自体を問題化してキリスト教の文脈に依存しない一般的な形で社会に鋭く問題提起し、人々の無意識のニーズに実質的に応えていくことこそが、日本のキリスト教学校に今求められていることなのでしょう。そのため学校の連帯を大切にしたいと思われました。

林 皆仁(キリスト教愛真高等学校教諭)



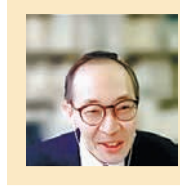
「新たな時代におけるキリスト教学校の使命と連帯」というテーマのもとで行われた今回の研修会を通して感じたのは、キリスト教学校は公立校や他の私学にはできない教育をしないと未来がないということです。キリスト教教育の理念と現代日本社会の平均的な価値観との間には大きな隔りがあるため、理念と利益の二項対立で現状を捉えているのは、キリスト教学校に未来はありません。むしろ、理想と現実のギャップ自体を問題化してキリスト教の文脈に依存しない一般的な形で社会に鋭く問題提起し、人々の無意識のニーズに実質的に応えていくことこそが、日本のキリスト教学校に今求められていることなのでしょう。そのため学校の連帯を大切にしたいと思われました。

林 皆仁(キリスト教愛真高等学校教諭)



### キリスト教学校教育懇談会 第22回講演会 合理的配慮と インクルーシブ教育を考える ～一人ひとりに寄り添うキリスト教学校～

2024年11月30日の多義性を解説しました。今年も日本カトリック学校連合会とキリスト教学校教育同盟が協力して行うキリスト教学校教育懇談会の第22回講演会がオンラインで開催されました。幼稚園から大学までの教職員、カウセラー、事務職員など様々な立場の者が今回のテーマ「合理的配慮とインクルーシブ教育」を語り合いました。一人ひとりに寄り添うキリスト教学校について、探究する貴重な時間を共有しました。



崎川 修氏



田中 哲氏



鍛治田千文氏

日本カトリック学校連合会ミカエル・カルマノ理事長の開会挨拶、大阪女学院大学・短大加藤映子学長の開会挨拶に続き、基調講演「ケアとしてのインクルーシブ」合議・刷新しつつ、語り得ない多様な困難にいかにか「出会って」行けるのか、宿題を与えられたと感じました。

もう一つの事例報告、鍛治田千文先生(YMC A学院高等学校校長)の実践例には大いに刺激を受けました。不登校の経験を持つ様々な生徒たちの必要に応えるべくユニバーサルデザインによるプリント作成やサイレントフロアの設置など、具体的実践例の数々には、なるほどその手があったかと思われ、同時に、継続的な対話によってつながることが大切だとの崎川先生の基調講演の実践をそのまま見たいな思いでした。

最後にキリスト教学校教育同盟の西原康太理事長の閉会挨拶と、ノートボードとヨソ・モードがあること、育ちのエネルギーを生み出す振り子運動(甘えん坊の面と背伸びの面を行ったり来たり)があること、心の循環運動がうまく進むためには、子どものBeing(存在)が大切にされること、重要であるとの指摘に深くうなずかされました。

### 仕える心、今も ～サーバント・リーダー～ 青山学院創立150周年 「希望の未来図コンテスト」

2024年11月16日(土)、青山学院を創設した宣教師の想いは、50年の時が過ぎゆくとも、今もこの学び舎に息づいていることを確信する瞬間だった。

片や終幕では、それが150年が経過した青山学院に学ぶ、今日の在校生が舞台に上がる。「希望の未来図コンテスト」―当初、そのコンテストは「未来の誰かをちよっぴりハッピーにするアイデアを募集します」というテーマと、A3用紙にアイデアのタイトル、ハッピーにできる理由、概要、込めた思いの4つを描くことだけを決め、大学から幼稚園までの在校生に呼びかけることを思い出す。

そして、ここ2年、様々な企画が進められ、この日の場にクライマックスを迎えた。1400名分の座席が、来賓や招待者、校友、教職員で満場となる中、在校生の奏でるハンドベルの音色が静けさを招き、創立150周年記念式典が始まった。礼拝を守り、続いて式典を執り行う。幕開き、映し出された動画は、1874年に遡り「自らの使命を深く認識し、青山学院と、すべての人と社会のために仕えたい人々がいました」と語りかけ、青山学院の歩みが、3人の宣教師の厚い信仰と志、それを支えた日本人の存在、彼らの人生と共にあったことを伝えていた。

長閑な閉会挨拶と、ノートボードとヨソ・モードがあること、育ちのエネルギーを生み出す振り子運動(甘えん坊の面と背伸びの面を行ったり来たり)があること、心の循環運動がうまく進むためには、子どものBeing(存在)が大切にされること、重要であるとの指摘に深くうなずかされました。

「希望の未来図コンテスト」紹介ページ

アイデア発表の様子



全応募アイデアの展示



渡辺健高等部長より「BLUE ACTION賞」の贈呈



山本与志春院長より「世の光賞」の贈呈



堀田宣彌理事長より「地の塩賞」の贈呈



130組中、8賞11組が受賞

青山学院創立150周年は、皆で祝い、感謝し、「ちよっぴりハッピー」を分かち合う、青山学院らしい記念日となった。

事務局長 沼 由美

今号では百年史を歴史物語として捉えた啓蒙学院、ルーツインタビュー、学部開校、山梨英和通信制コース開設、青山学院150周年希望の未来図コンテストの記事を掲載しました。新しい観点から、取組みがキリスト教

教育のさらなる価値を生み出します。困難な時代にこそ新たな教育の創造を期待します。1月6日は事務局の仕事を始め、公現日にクリスマスカードとリースを片付け、年度末を控えて積み残した仕事を励みまします。本年もよろしくお願事務局

<行事予定> ※予定は状況により変わることがあります。

## キリスト教Q&A

―キリスト教の理解を深めるために―

# キリスト教の神



横浜共立学園中学校 高等学校 聖書科教諭 鈴木 泉

「機関紙に載せる写真を撮って！」と気軽な気持ちで写真部の生徒にお願いをしたところ、「では一眼レフを持ってきます」とのこと。ただでさえ重たいカバンを持って登校するのに、重たいカメラまで申し訳ないと思い、私のデジカメでいいよと伝えたところ、「妥協したくないので！」と一言。「私ごときのためにそこまでしないでいいのに…」と思いつつ、ありがたく生徒の思いを受け取ることになりました。さて、今回のテーマはキリスト教の「神」です。その「神」が聖書にはどのように表されているかを見ていきましょう。たくさんご紹介したい御言葉はあるのですが、旧約新約から一つずつご紹介いたします。まずは旧約聖書の申命記から「あなたのただ中におられるあなたの神、主は熱情の神である。」(6章15節)。次に新約聖書ヨハネによる福音書から「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、

永遠の命を得るためである。」(3章16節)。距離を取らずに熱くあなたと関わろうとする神。イエス・キリストを私たちの罪の身代わりとして十字架にかけられるほどに、あなたを愛する神。つまり、愛することにおいて、冒頭に登場した生徒のように妥協したくない神。それがキリスト教の「神」です。そもそも命がけで愛してほしいなんて頼んでいないし、私ごときのためにそこまでしなくてもいいのに…と思う方もいらっしゃるかもしれませんが。しかし神は見返りを求めている訳ではありません。ギブアンドテイクが成立する程度に、中途半端に私たちを愛している訳ではないのです。キリスト教学校に勤めているからといって(勤めているからこそ)、何から何まで信じるのは難しい。でも愛することに妥協したくない神の愛を、素直に受け取って損することはないのではないのでしょうか。日々の仕事に時に翻弄され、時に忙殺される中でも、自分を愛することと他者を愛することに妥協しない私たちがいたいと思います。なぜならイエス・キリストを身代わりに十字架にかけられるほどに、尊く価値あるものとされ、一切の妥協なく神様に愛されているのが私たちだからです。「隣人を自分のように愛しなさい。」この生き方を戯言や綺麗事に終わらせず、実現可能なものへと導く神、それがキリスト教の「神」なのです。 \*2025年は横浜共立学園中高、女子学院中高、関東学院六浦中高の先生方が担当されます。